



自然教室実地踏査

4月21日を皮切りに、平成20年度の自然教室の受入れが始まりました。自然教室では川崎市の115校の小学5年生全員と51校の中学1年生全員が年間を通じて2泊3日で行ってくる事業です。9月までの前半の利用校の先生を対象に4月2～3日、1泊2日で現地の実地踏査をしてプログラムを検討して頂きました。参加者は小学校が106名、中学校が15名、教育委員会職員等18名、合計139名でした。幸い天候に恵まれハイキングコースやオリエンテーリングコースの下見、バーベキューや野外炊飯の体験実習、アストロハウスでの星空観察、ナイトハイキング、同時に実施する学校同士のプログラム調整を夜遅くまで行ないました。2日目は宿泊棟やワーキングホール等の活動場所として計画している場所の施設見学を各学校にして頂きました。その後敷地内の植物や動物、アストロハウスでの昼間の星観望など、課題別学習の下見をして頂きました。このような綿密な実地踏査を通じて、自然や施設設備を活かした実のある自然教室が実施されるのです。先生方は参加する生徒のことを思いつつ、どうすれば良い体験をし、良い思い出が作れるかを考え、真剣に実地踏査をされました。いよいよ新しい年度の活動が始まりました。

所長のひとりごと 11

三井 一 則

玄関前のムラサキツツジが何故か下から2輪だけ花をつけた頃、標高955メートルの富士見駅周辺はやっと桜のつぼみがほころび始め、富士見の桜の季節が始まりました。おなじころ、初々しい中学校1年生の自然教室を向かえ、それから一気に夏休みまで、前期自然教室が実施され、八ヶ岳の裾野を元気に歩く子供たちの声が帰ってきます。

冬の自然教室でのこと、スキー教室に参加した学校の生徒が、最終日の朝挨拶に来てくれました。「3日間お世話になりました。ありがとうございました。」と言った後に、「もう来る事はないかもしれませんが、思い出になりました・・・」と。驚きながら「自然教室は終わっても又機会を見つけて八ヶ岳を利用してください」と答えましたが、多くの児童・生徒は自然教室が八ヶ岳の思い出の最初で最後の体験としてあるのかも知れません。

今年の自然教室が始まりました。こどもたちの貴重な体験となる活動のサポートと、また来なくなるプログラムを開発すること。この次は「八ヶ岳にまた来ます。」と行って帰ってもらえるようにと、気を引き締め直してスタートです。

主催事業

3月の「八ヶ岳自然紀行」は1、2日の一泊二日で「雪の世界」と題して雪の中を歩きながら自然観察をしました。初日は少年自然の家敷地内の雪の深いところをスノーシューをはいて歩く練習をしながら、動物の足跡や食痕を探しました。また、じっと冬越しをして春を待つ木々の葉痕の観察をしました。葉痕はサルの顔に似ていたり、コウモリや人形の顔のように見えたりします。そんないろいろな葉痕を見ながら、春の準備をしている自然の仕組みを学習しました。夜はアストロハウスで冬の星座、火星やいろいろな星雲星団を観察しました。翌日はまだ積雪2mほどある入笠山の温泉に出かけました。パラマスキー場のコ

ンドラで山頂駅まで行き、昨日雪上を歩く練習をしたスノーシューをはいて雪の世界に浸りました。参加者はでした。4月は「信州山

里花めぐり」です。4月19、20日に実施しました。一転して花を楽しんで頂く企画です。初日は諏訪



方面へ今満開のザゼンソウと福寿草を見に出かけました。この辺りは少し標高の高いところでは今が見ごろなのです。夜は少年自然の家より200mほど標高の低いところ

ろにある観音堂に咲く、ライトアップされた風流な桜を觀賞しました。翌日は今満開の有名な高遠の「コヒガンザクラ」の觀賞です。ものすごく混み合うので朝早く出かけました。天気にも恵まれ、ソメイヨシノよりピンク色の濃い見事な桜を心行くまで觀賞できました。こ

こは川崎より一ヶ月遅れて春がやってくるのです。参加者は大人9名、子ども3名でした。

地元の人を対象にした「ふじみ星空観察会」は3月7日と4月11日に実施しました。両日とも快晴に恵まれ、冬の星座と春の星座をたどりました。星空はこの時期冬から春へ衣替えをしているのです。

天体望遠鏡での見ものは月面のクレーター、土星の輪、美しい散開星団などでした。参加者は3月17名、4月は11名でした。

組織と職員が変わりました

4月は人事異動の季節です。ここ八ヶ岳少年自然の家も世間の例に漏れず、組織が少し変わり、職員も少し変わりました。組織は所長の下に、今までは副所長がいて、その下に2つの課がありました。副所長のポストが無くなり、3つの課になりました。庶務課、指導課、管理課です。庶務課の中には庶務係と厨房係があります。指導課の中には指導係、管理課の中には管理係があります。3課4係の体制になりました。庶務課長は樋口さん、指導課長は五味さん、管理課長は山口さんです。新体制で利用者の皆様に今まで以上に満足いただけるよう頑張っています。

施設紹介

プレイホール 多目的ホール

当少年自然の家の宿泊定員は531名です。小学校の自然教室では3〜4校が同時並行利用をします。夏季には少年団体が多いときには10団体ほどが同時並行利用をします。同時に利用する団体が多ければ多いほど活動場所の振り分けが難しくなります。特に雨などで屋外の活動が出来ない場合、どうしても室内の活動になってしまいます。そこで多目的に使える部屋が多ければ多いほど、団体の活動が多岐にわたることが出来るわけですが、そんなに多目的に使える部屋を作るわけに行きません。そこで少なくとも小学校が4校が別々に集まって活動できるようにしようとして設置されたのがプレイホール

です。プレイホールには第1プレイホールと第2プレイホールがあります。第1は管理棟にあり、食堂に入る前の待機場所として、キヤンドルファイヤーの場所として、またゲームやいろいろな活動に使



われています。第2は鳥の棟の1階にあり、雨天時の朝の集いやキヤンドルファイヤー、ゲーム等の場所として多様に利用されています。当施設ではプレイホールはこ

の「八ヶ岳だよりNo.4」で紹介したワーキングホールに次ぐ広い部屋ですが、どちらも200人くらいの子どもたちが楽に入って活動できる広さがあります。また、第2プレイホールに接して多目的ホール

があります。多目的ホールも200人くらいの子もたちが楽に入って活動できる広さがあります。第2プレイホールと多目的ホールは可動式の壁で区切ることが出来ますので、使用目的に合わせて区切って使用しています。この他にプレイホールより少し狭いですが80〜100人くらいが活動できる研修室、集会室、星の広場などがあり、多くの団体の多様なニーズに応えるようにしています。

感想文より

● わたしたちはフェスティバル

で自然教室のことを発表します。木やキノコのこと、アストロハウスで見た星空のことなどいろいろ発表します。3日間ありがとうございました。

(小5 女子)

● 今回初めての利用で、星空観察に参加させて頂きました。初めに眠そうだった子どもたちが星を見ながらの説明を聞いていくうちに、とんどん途中で寒さを忘れるくらい興味を持って星空を見ていたので、また是非参加したいと思いました。食事もおいしく、少食な娘が自分で取った分を全部たべたのに驚きました。駐車場が少し遠いので荷物の積み下ろしが大変でした。台車が使えると良いなと思いました。(家族 父兄)

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、午前1回、午後1回、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費はいただきます。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から一つを選びます。八ヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産に持ち帰ることがができます。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での

天体観察をします。火星・土星や星雲や星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

八ヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月1～2回開催しています。

●新緑の八ヶ岳ハイキング

施設周辺をハイキングし、新緑を楽しみます。

・ 5月10日～11日（1泊2日）

●初夏の花めぐり

・ オレンジ色のレンゲツツシの花と白色のすずらんの花を觀賞しま

す。

・ 6月20日～22日（2泊3日）

●ホテルと美術館めぐり

・ 昼は美術館を、宵は飛び交う幽玄なホテルを觀賞します。

・ 7月5日～6日（1泊2日）

費用、内容、申し込み方法等、詳細についてはお問い合わせください。



あとがき

今年は記録的に寒い冬になりましたが春は逆に記録的に暖かくなり、桜は例年並みの4月23日に開花しました。春は別れと出会いの季

節、ここ八ヶ岳少年自然の家も世間の例に漏れず定年退職した人、新たに着任した人がありました。指定管理者として運営を受託している我々職員は全員地元の人間です。それだけに八ヶ岳まで川崎から来てくれる団体やグループ、家族の方々に満足して帰って頂きたい、また来て頂きたいという強い思いを抱いています。新任職員ともども昨年より充実した運営をしていると評価されるよう頑張ろうと決意を新たにしています。

川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

TEL 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社